

平成28年度 事業計画書
(平成28年4月1日～平成29年3月31日まで)

1. アーカイブ事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行なう。また、活動に関わる諸テーマについて、独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関・個人との共同研究等も行なう。【定款 第4条(1)、(3)、(6)】

- ・作品データベースを業務用検索と一般公開の2つの利用を可能とするものにリニューアルし運用開始する。
- ・ポスター作品の高精細デジタルデータ保存を永井一正作品ほか継続して進める。
- ・ポスターアーカイブは、追加寄贈いただける作家からの体系的な寄贈を継続して受け入れる。
- ・将来的アーカイブセンターとして実現すべき機能・仕様を引続き実証・検討する。

(1) 田中一光アーカイブ

当時のポスター制作の実務担当者からヒヤリング調査で得られた田中一光作品の製版・印刷にかかわる技術・ノウハウ情報を整理する。さらに、ヒヤリング対象を作家周辺の人物等に広げ、オーラルヒストリーとしてまとめる。作品以外の資料類などのデータの精緻化、保存状態の最適化(デジタル保存など)は継続して進める。

(2) ポスターアーカイブ

国内外の現代グラフィックデザインの秀作を次世代に文化資源として残すための収集活動を継続する。

現在、国内 116 作家、海外 114 作家、計 230 作家、13,063 作品を収蔵している。

(3) タイラーグラフィックス・アーカイブ

平成28年度、タイラーグラフィックスのコレクションによる収蔵品展をCCGAにて1回開催し、他美術館への作品の貸し出しも行う。

(4) 田中一光作品で実験的に進めてきた高精細デジタル撮影、画像合成、専用撮影機材などを活用してポスター作品のデジタル保存を進める。(400dpi/解像度、800 Mb程度/B1 サイズ)

(5) 作品データベースのリニューアル

世界的に進む文化資源のデータベース化の動向を踏まえるため国内のアーカイブ研究者と意見交換をおこない、「管理系リニューアル」と「公関係リニューアル」を、段階的にカットオーバーする。

2. 展示事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行なう。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行ない、また、展示施設の管理運営を行なう。【定款 第4条(2)、(6)】

東京都 ggg、京都市 ddd、須賀川市 CCGA の3施設で展覧会を開催する。

平成28年度は、次ページに記載した予定表に従って展覧会を開催する。

gggは、施設の老朽化にともなうリニューアル工事を終え、4月からggg30周年記念展で再開する。

・gggの展覧会開催スケジュールは、基本的に年12回開催としていたが、展覧内容に応じて開催期間を延長する。

・dddは、周辺の認知も充分とは言えないので、広報活動も注力して行う。また、エリア内の美術デザイン系の大学・専門学校からの来場者比率が高いことから、大学連携の特別企画展を実験的に実施する。

・CCGAは、「タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展」の他、現代版画作家をテーマとする企画展を開催する。また、5月には、展覧会場内(グラフィックとミュージック展)で音楽イベントを実施する。

(1) gggの会期と土曜日の開館時間の見直し

「TDC展」「ADC展」といった他団体との連携展覧会は、従来の1か月間(20日間強)の開催期間とし、定期的、集中的に来客を促進する。日本人作家の個展、海外作家の個展、テーマ展などは、1か月半(30日間前後)の開催として、年間8回の展覧会を計画する。

現在、土曜日の閉館時間は18時となっているが、入場者が集中するため、平日に合わせ19時までとする。

(2) dddの大学連携企画

京都工業繊維大学連携企画

期間:2016年11月11日~12月3日(20日間)予定

タイトル:京都工芸繊維大学所蔵品展(仮)

京都造形大学連携企画

期間:2016年12月14日~12月24日(9日間)予定

タイトル:未定

(3) CCGAでの音楽イベントの開催

日時:2016年5月22日(日) 16:00~

演奏者:DNP フルハーモニック・アンサンブル

演目:モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第一楽章、

ドビュッシー 小組曲より、ショパン 幻想即興曲 OP.66 ほか(予定)

・ggg(銀座)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 352 回 ggg30周年記念展 ggg ポスター1986-2016	4/15(金)～5/28(土)
第 353 回 2016TDC展	6/3(金)～6/27(月)
第 354 回 2016ADC展	7/4(月)～7/30(土)
第 355 回 ggg30周年記念展 田中一光の革新	8/8(月)～9/10(土)
第 356 回 NOSIGNER展	9/16(月)～10/31(月)
第 357 回 白井敬尚展	11/11(金)～12/22(木)
第 358 回 仲條正義展	1/13(金)～2/18(土)
第 359 回 シスレ・ヴィッチ展	2/27(月)～3/31(金)

・ddd(京都)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 207 回 21世紀琳派ポスターズ展(巡回展)	4/4(月)～5/13(金)
第 208 回 ライゾマティクス展 (巡回展)	5/26(木)～7/9(土)
第 209 回 2016TDC 展 (巡回展)	7/22(金)～8/27(土)
第 210 回 デザイン&イノベーション展	9/8(木)～10/29(土)
【特別展】京都工芸繊維大学所蔵品展	11/11(金)～12/3(土)
【特別展】京都造形大学コラボ展	12/14(水)～12/24(土)
第 211 回 K2(長友啓典+黒田征太郎)展	1/19(木)～3/18(土)

・CCGA(福島)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 68 回 グラフィックとミュージック展	3/1(火)～6/5(日)
第 69 回 中林忠良展	6/11(土)～9/11(日)
第 70 回 タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.29	9/17(土)～12/23(金)
冬期休館 (第 28 回 田善顕彰版画展 2/5～2/11 予定)	12/24(土)～2/28(火)
未定	3/1(火)～

ggg、ddd は入場無料とする。CCGA の入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。但し、以下の方々は無料とする。小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者 他

3. 教育・普及事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【定款 第4条(4)】

グラフィックに関する知識・関心を、一般の方々に広げることを目的に、講演会、対談、図書等の刊行、インターネットを通じた情報提供を行なう。

- ・平成28年度、ggg Books は3点を発行予定。アニュアルレポートは、8月に発行予定とする。
- ・ggg Books の電子書籍版の発行も継続し、電子図書館での利用を促進する。
- ・ギャラリートークは、無料動画ネット配信により、来場できなかった不特定多数の方々が広く参加できるものとする。
- ・須賀川CCGAにおいて、地元の版画文化振興と連携して版画工房ワークショップ、版画工房の一般開放、FaceBookサイトの運営を継続し、活性化を目指す。

・図書の刊行:

平成28年度は、展覧会と連動し、作家の作品集「ggg Books」を3点(発行予定作家: NOSIGNER、白井敬尚、シスレ・ヴィッチ)と「図録」(仲條正義、K2)を発行する。ggg30周年記念図録として、「明日に架ける橋 gggポスター1986-2016」(4月)、「田中一光の革新」を刊行する。

・アニュアルレポート発行:

平成28年度は、「アニュアルレポート 15-16」を8月に発行し、翌年度刊行する「アニュアルレポート 16-17」の企画・編集を開始する。

・ギャラリートーク:

平成28年度は ggg(銀座)で7回、ddd(京都)で7回開催予定。
また、セミナーは、原則としてインターネットを通じて不特定多数の人に向けて配信する。また、最適な配信の方式(通信の安定性、使用制限内容など)を検討する。
dddでは、ギャラリーの認知拡大にもつなげるために、外部(大学など)の会場を活用してセミナーを開催する。

・ホームページ:

不特定多数の方に向けて、新鮮な情報発信を行う。インターネットを活用した展覧会の予告、開催状況、ギャラリートークの予告、電子書籍などの告知、研究助成プログラムの告知・申込みなどに活用する。

また、スマートフォンやタブレット端末の普及拡大をふまえ、閲覧のしやすさ、情報更新のしやすさを実現するためホームページをリニューアルする。

・版画工房ワークショップ: 2回開催予定

=6月開催予定 エッチング講座

=11月開催予定 メゾチント講座

4. 国際交流事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【定款 第4条(5)】

・平成28年度は、gggにて1回海外作家の展覧会を開催し、dddにて1回海外のキュレーターと連携した展覧会を開催することにより、海外のグラフィックデザイン事情を紹介する。海外作家などの講演会を、展覧会活動と連動して開催する。

・国内の他のグラフィック団体(東京アートディレクターズクラブ(ADC)、東京タイプディレクターズクラブ(TDC)等)と連携し、企画展の巡回先を検討する。

・世界のトップデザイナーによって構成される国際グラフィック連盟(Alliance Graphic International)の日本事務局のサポートを継続し、海外作家との情報交換を積極的におこなう。

・シスレ・ヴィッチ(2月ggg、ポーランド)、デザイン&イノベーション展(9~10月ddd、フランス)の企画展を開催し、各国の大使館やコーディネーターなどとの文化交流を促進する。

・AGI(国際グラフィック連盟)の総会 2016(開催地ソウル)に参加し、世界各国作家との交流、およびグラフィックデザイン界の情報収集を行う。

・AGI 国際執行委員の佐藤卓氏と共に、未だ AGI 会員のいないアジア地域で活躍する作家を発掘し、AGI 会員として推薦する支援を行う。

・TDC 展(2015/2016)の中国巡回(深圳市)に向けて、企画・準備他に伴うコミュニケーションサポートを行う。(2017年3月実施予定)

5. 研究助成事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【定款 第4条(7)】

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を対象としたコミュニケーション、印刷複製、表現の理論、技術、知識、歴史などを継続しテーマとする。また、CCGA(須賀川市)周辺で開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対して従来から行ってきた協賛を継続する。

平成28年度も継続して

A部門: 「グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする研究」、

B部門: 「グラフィックデザイナー、田中一光に関する研究」

の研究テーマに対して助成をおこなう。

10月開催予定の審査委員会によって助成対象テーマを10件数程度選考する。また、継続助成を希望するテーマについても審査する。

助成テーマの募集は、インターネットやチラシなどによって広く行い、国内外の研究者による研究を対象とする。

スケジュール

4月 平成28年度研究助成テーマ募集スタート

7月 応募締め切り

9月 審査委員会の開催

10月 採択テーマの発表(発表後1年6ヶ月で成果の提出)

また、平成27年度末に研究期限をむかえる2テーマについての成果発表の方法や今後の研究者の交流の形態、インターネットを活用した活性化の手法などを検討する。

以上